



<箱根教育：教育目標>

「のびのびと心温かい箱根の子どもの育成」 ～箱根を愛し かしく やさしく たくましく～

緊急事態宣言が明け、新型コロナウイルス感染者数が右肩下がりに減りました。秋の行楽シーズン、箱根にはたくさんの観光客が来て賑わいを見せることでしょう。しかし、乳幼児期の子どもたちは、ワクチンを接種していません。引き続き感染対策をしっかりし、安心安全の生活を送っていきようにしましょう。

さて、土日に出掛けると、毎週のように稲刈りの様子が見られます。仙石原幼児学園の畑は、今夏、トウモロコシ・ミニトマト・キュウリ・オクラ・ナス・ピーマン・モロコインゲンなど豊作でした。畑を耕し、種を植え、水や肥料をあげ、太陽をたくさん浴び、芽吹き、やがて実がなり、収穫します。毎年この時期になると、植物の生長が子どもの成長と重なります。子どもは、安心できる場(家庭)に自分を置き、心を耕し、その子にあった栄養をたっぷりあげると、心が豊かになり、良い成長を成し遂げ、巣立っていきます。

園では、思う存分遊び、遊びの中で、一人から集団の人数が増え、群れて遊ぶことが楽しくなっています。友達との関わり中では、良いことばかりではありません。衝突あり、友達の言葉に傷つき、思い通りにいかないこともたくさん！こらえきれず涙がこぼれる姿もありますが、小さいながらも自分で乗り越えています。『子どもの涙には未来がある』と感じます。園での1コマ1コマを大事に見取っていきたいと思います。

今年も祖父母交流会が開催できず、写真立てを送りました。早速、電話をいただいたご家庭も多く、ビデオ通話をしたんだよ！という子どももいました。緊急事態宣言が明けて、早速会いに来てくれた祖父母の方もいられたようです。早く日常が戻り、安心して行き来ができるようになるとうれいですね！いつも温かく見守ってくれることに感謝です。



10/7 運動会

今夏は、オリンピックがあり、テレビで応援していた子どもも多く、フェンシングやBMXなど例年と違った遊びが展開されていました。年長児は、開会式をみて、フラッグを作って入場したい！フラッグを持って踊りたい！という思いから、自分たちで動きを考え、嵐の『カイト』『Happiness』の曲にのせて校庭を舞っていました。

昨年の経験から、リレーや大玉転がし、綱引き、玉入れ、また、挑戦したいこと(縄跳び、跳び箱等)に何度もチャレンジするなど異年齢で遊んできました。感染対策としてクラス毎の運動会を開催しましたが、園での日常は、変わらず良い刺激を受けています。

頑張ればできるようになることを信じ、できた時はとびっきりの笑顔で喜びを表現する子どもの姿に感動しました。

また、それを支える大人の存在の大切さを改めて感じた1日でした。



秋の夜長に読み聞かせ！

乳幼児期は、絵本に触れることで言葉の楽しさや美しさに気づいたり、想像上の世界や未知の世界に出会い、様々な思いを巡らしたりします。

大人に読んでもらう何とも言えない心地よさを味わい、心が豊かになります。

幼児クラスは、園文庫で毎週2冊ずつ・きつつき号で月2回3冊ずつ借りられます。また、図書館で借りることも必要な経験です。

言葉に対する感覚を養い、状況に応じた適切な言葉の表現を使うことができるようになる上でも重要です。

ぜひ、読み聞かせの時間をお子さんと楽しんでください。

連協お楽しみ会(10/13)

箱根町4園合同の保護者会連絡協議会お楽しみ会があります。今年度は仙石原幼児学園保護者会が担当です。コロナ禍でも子どもたちが楽しめることを！と昨年から準備を進めてきてくださいました。当日は、2部制で開催されます。会場案内や劇団とのやり取りなどお世話をさせていただきます。

劇団風の子による“ないしょないしょのしっぽがぼん”久しぶりの観劇です。

日頃、ペープサートを作って人形劇で遊んだり、お話を作ったりしています。おもしろさを感じたり、こんなことやってみたいと思ったり、プロの劇に刺激を受けて、遊びが発展し、経験を重ねていくことができたと思います。



ハロウィン誕生会(10/29)

毎年子どもたちが楽しみにしているハロウィンの季節がやってきました。今年度初めに「わたしね！ハロウィンが楽しみなんだ」と話していた子どもがいます。「どうしてハロウィンが楽しみなの？」と聞くと、「衣装を作って仮装するでしょ！パーティーもするでしょ！トリックオアトリート！っていうお菓子がもらえるでしょ！だから楽しみ」と子どもにとって、心が躍るわくわくする体験は、大きな育ちにつながります。

一人一人が思い描いているイメージを友達と共有して、パーティーを作り上げていく過程で切磋琢磨して思いを成就する経験をして行くことでしょう。今年はどうかなハロウィンになるか楽しみです。

